

頭取からのメッセージ

経営の基本方針

経営理念

福岡銀行は、5つの基本理念により、質の高い金融サービスの提供を通して、企業価値の持続的成長を実現します

福岡銀行の基本理念("5C"Values)

- 『顧客』顧客を最優先する組織・人材
(Customers)
- 『信頼』顧客・社会から長期にわたる信頼を築き上げる
組織・人材
(Credibility)
- 『貢献』顧客や地域に貢献する組織・人材
(Contribution)
- 『挑戦』前向きなチャレンジ意欲あふれる組織・人材
(Challenge)
- 『変革』たゆまず進化する組織・人材
(Change)



頭取 寺本 清

私ども福岡銀行グループは、5つの基本理念により、質の高い金融サービスの提供を通して企業価値の持続的な成長を実現してまいります。また、地域のリーディングバンクとして、顧客指向・地域への貢献はもとより、地方銀行の枠組みにとらわれない優良行を目指して成長の方向性やそのスピードといった質・量両面にわたる発展を実現し、企業としての魅力をさらに高めてまいります。

経営環境

平成15年度のわが国経済は、米国・中国・アジア諸国の景気拡大を背景とした輸出の伸びと大企業を中心とした設備投資に支えられ景気は着実に回復へと向かいました。

また、株式市況も堅調に推移し、期末日経平均株価は1万1千円の水準まで回復しました。雇用情勢は依然厳しいものの、個人消費にも持ち直しの兆しが見え始めております。しかし、こうした景気回復が中小企業への波及やデフレの解消を確認するまでには至っておらず、本格的な景気回復にはもうしばらく時間を要するものと思われます。

金融面では、昨年3月に金融庁から地域金融機関に対して「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」が公表され、中小企業金融の再生及び健全性確保・収益向上等に向けた各種取り組み方針が示されました。また、日本銀行の潤沢な資金供給による金融緩和の拡大等もあって金融市場は安定化へと向かいました。さらに企業金融においては直接金融にとどまらず、証券化・流動化のビジネスが徐々にその市場地位を高めていくものと考えられます。

また、ペイオフ全面解禁を来年4月に控え、金融界の競争がさらに激化することが予想されます。

このような経営環境のなか当行は、中期経営計画「新世紀プラン」の各種施策を確実に実施し、収益力の強化と資産内容の健全性を確保することで高い企業価値の実現を目指すとともに、営業・経営管理における先進手法を追求してまいります。

「新世紀プラン」の進捗について

平成15年度からスタートいたしました中期経営計画「新世紀プラン」では、基本方針を「拡大均衡の持続」と定め、法人営業部門・個人営業部門における各種施策を実施することにより、さらに高いレベルの成長を追求してまいります。

15年度におきましては、お客さまの金融ニーズに的確にお応えするため、新商品の開発、各種サービスの提供などを積極的に行うとともに、店舗網や業務の効率化をさらに進めることにより、業績の一層の伸展と経営体質の強化に努めてまいりました。

法人営業部門では、本店・北九州・久留米各営業部に「コーポレート営業部」を新設、また法人営業部にソリューションチームを設置し中核法人営業の体制改革・問題解決型営業を進めてまいりました。

個人営業部門では、ローンセンターの拡充、店頭営業改革の浸透、ダイレクトバンキングセンターの移転・拡充、テレホンバンキング投信機能強化等により、主力3商品(住宅ローン・消費性ローン・資産運用商品)営業の先鋭化を進めてまいりました。その他、機構面では昨年4月に、お取引先の事業再生・健全化支援の専門部署として「事業金融部」を新設しました。また、5月に事業再生に軸足を置いたサービサー「ふくおか債権回収株式会社」を設立したことを受けて、7月には審査第一部と審査第二部を統合のうえ「審査部」としました。10月には法令等遵守態勢の強化及びサービス品質の向上を統括する部署として「クオリティ統括部」を新設しました。

地域とともに

ふくぎんは、お客さまが安心してお取引引きいただけますよう、収益力・財務体質の一層の強化や、さらなる経営の健全化・効率化に努め、“地域の皆さまに良質な金融サービスを提供し、地域社会の発展に貢献する”という地域金融機関の使命を果たしていく所存です。

